ISHIKAWA PREFECTURE
石川県

テーマ２

高付加価値型インバウンド観光の推進

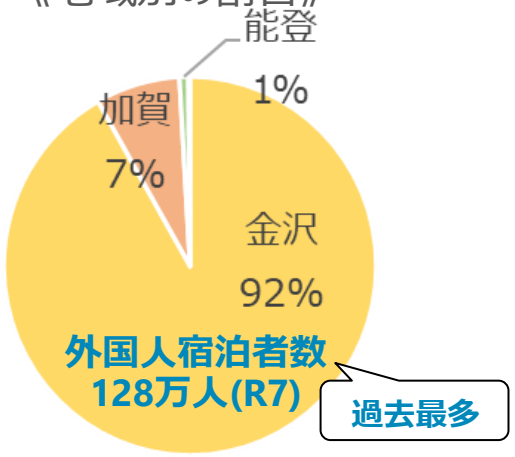
高付加価値型インバウンド観光の推進

インバウンド客の現状

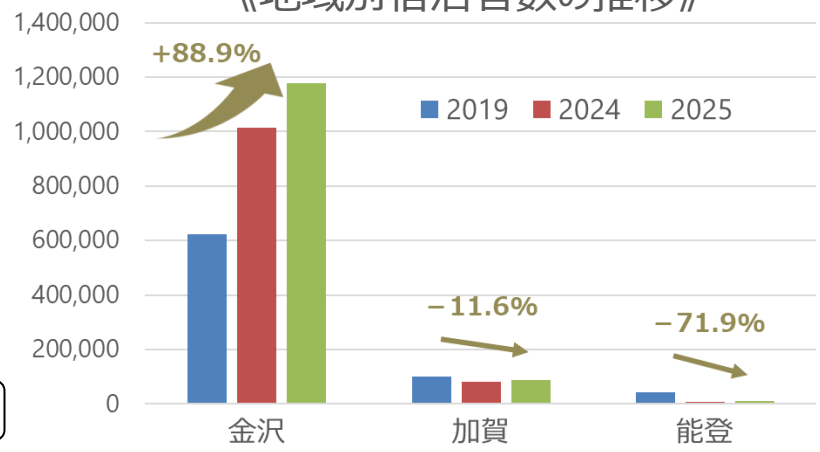
○ 海外からの観光客は**金沢エリアに集中**。

○ さらなる誘客拡大を目指すにあたり、
加賀・能登への誘客を強化することで
持続可能なインバウンド誘客を実現する。

《地域別の割合》



《地域別宿泊者数の推移》



《県の取り組み》

欧米豪

・初来日が多く、2週間前後の滞在で国内の主要観光地を広域に周遊
(東京－金沢－京都・大阪－広島など)

▶旅行会社を通じた手配が多く、旅行会社に対して加賀・能登への誘客を働きかけ

アジア

・リピーター客が多く、地方を訪れる傾向が強いことから、加賀・能登誘客における有望市場

▶加賀・能登の認知度向上に向けた情報発信強化に加え、旅行会社への送客働きかけを強化

調査・分析

・加賀・能登でのアンケート調査
・人流データの分析

▶加賀・能登を訪れる旅行客の行動特性に基づき、効果的な情報発信につなげる

高付加価値型インバウンド観光の推進

高付加価値旅行者（富裕層）の特長

- 高付加価値旅行者（富裕層）の定義（観光庁）
  １回の訪日旅行で100万円以上を日本国内で消費（航空券代除く）
- 知的好奇心が強く、地域の文化・自然・伝統への深い理解や学びを重視する傾向
- 旺盛な旅行消費を通じて、地域の観光産業のみならず、多様な産業に経済効果が波及

石川県には、伝統工芸、伝統芸能、世界農業遺産「能登の里山里海」など、
高付加価値旅行者の嗜好に合った魅力的な観光資源が豊富に存在することから、
観光による消費拡大を図るため、高付加価値旅行者の誘客に着手


伝統工芸（九谷焼）


伝統芸能（金沢芸妓）


「能登の里山里海」

高付加価値型インバウンド観光の推進

京都市等との連携「ラグジュアリー・トラベル・アライアンス」(H28～R3)

京都市、京都府、石川県、札幌市、和歌山県、奈良市との連携組織

→ 高付加価値旅行者マーケットの情報収集、各地域の取組み等情報交換

→ 国際旅行見本市「ILTM カンヌ」（フランス・カンヌ）への出展　など



ILTM カンヌ

ルレ・エ・シャトーとの連携（H28～R２）

※県内では「べにや無何有」「銭屋」が加盟

パリを本部とする世界の高級ホテル、レストランによる会員組織

→ ルレ・エ・シャトー総会開催(東京)に合わせ、ホテルオーナーやシェフを招へい

→ 高付加価値向け旅行会社の招へい　など

レ・クレドール・ジャパンとの連携（R4～R5）

一流ホテルのコンシェルジュが加盟する国際組織
「レ・クレドール」日本支部と連携

→ 石川県紹介セミナー開催

→ 加盟コンシェルジュの招へい



コンシェルジュ招へい

高付加価値型インバウンド観光の推進

観光コンテンツの造成（R4～）

伝統工芸や食を活用した観光コンテンツの充実

【観光コンテンツの例】

・忍者寺「妙立寺」1日１組限定プライベートツアー（金沢市）
・那谷寺でのプライベートヨガ体験（小松市）
・九谷焼工房でのプライベート絵付け体験（能美市）
・ジンブレンド体験と地産地消ガストロノミー体験（金沢市）



九谷焼工房での絵付け体験



ガストロノミー体験

観光レップの設置（R4～）

観光レップを通じた現地旅行会社・メディアへの働きかけ

【設置市場】

・米国
・欧州（英・仏）
・豪州

※R8～　台湾、韓国、香港に設置

高付加価値型インバウンド観光の推進

高付加価値旅行者誘客の成果

①豪州からの高付加価値ツアーの誘致（H27～）

豪州の旅行会社が、北陸新幹線グランクラスを活用し、東京・金沢・京都等を巡る高級ツアーを造成

H27年以降、ジャネスコトラベルが年間2ツアー（30名程度）を送客



金沢城五十間長屋でのディナー

②プライベートジェットツアーによる団体ツアー誘致（R6）

高付加価値旅行を専門とする世界最大手の旅行会社
「アバクロンビー＆ケント」社の創立者と巡る世界一周ツアー

期　　間：令和6年10～11月（26日間）　※県内滞在は3泊
参 加 者 数：44名（満席・完売）
県内訪問先：金沢城五十間長屋でのディナー、気多大社での直会体験



気多大社での直会体験（イメージ）

高付加価値型インバウンド観光の推進

北陸三県・金沢市との連携

R5～

観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業

プロモーションや旅行会社とのネットワーク構築等に取り組み、

高付加価値旅行者が増加

【主な取組】

・北陸のPRツール作成

・体験コンテンツの造成

・国内外旅行会社の招へい

・北陸の事業者と国内旅行会社との商談会開催

・高付加価値旅行者に対応したガイド育成研修



北陸のPRツール（ブランドブック）作成



旅行会社との商談会

高付加価値型インバウンド観光の推進

北陸（石川県）における高付加価値旅行の現状

【高付加価値旅行を取り扱う国内DMCへのヒアリングより】

送客状況	●加賀や金沢に**２～３日滞在** **１人 30～40万円消費** ●人気のある訪問先： **伝統工芸の工房、芸妓体験、** **日本酒試飲体験、** **加賀温泉旅館**
評価	●北陸の評価**「伝統工芸・文化」と「食」** ・高い技術を持つ職人との交流などを通じ**「本物」に触れることができる** ・豊かな自然に恵まれ、和食に加え、フレンチ、イタリアンなど **良質な食の選択肢が豊富**
課題	●東京や京都に比べ、**高付加価値旅行者向けの通訳ガイド、宿泊施設、** **移動車両等が不足**



加賀友禅工房



九谷焼工房



日本酒試飲体験

高付加価値型インバウンド観光の推進

北陸三県・金沢市との連携

R10～

観光庁支援終了後

さらなる誘客の拡大に向けた取組を継続するため、

北陸三県と民間事業者による新たな組織づくりを検討

【北陸エリアの課題】

・海外市場における北陸の更なる認知度向上

・高付加価値旅行者のニーズを満たす受入環境整備　等
（宿泊施設のソフト面の磨き上げ、ガイド育成等）



ガイド研修

高付加価値旅行者が北陸に滞在する際の拠点となる金沢市とも連携し、官民が一体となり、さらなる誘客に向けた取り組みを推進